

Ⅲ-12 子どもはどこで育つの？

対象：学童期の子どもをもつ保護者
時間：55分程度

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な人・価値観にふれて育っていくことよさを感じ、開かれた教育環境で子どもを育てていきたいという思いをもつ。 ○ 自分の周り（地域）にたくさんの教育環境があることに気づく。 		
実施のポイント（評価など）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いに意見を出し合いながらマップを作ることで、自分の周り（地域）の教育環境について考えることができる。 ○ 「子どもの学びにつながる度」「私がハードルを感じる度」の2つの見方ができるとともに、それぞれの考えたランキングをもとに話し合う中で、多様な価値観にふれることができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ4人程度のグループに分かれておく。 ○ 模造紙 ○ 付せん紙 ○ 筆記用具（黒マジック、鉛筆） ○ A4用紙 ○ 参考資料（2種類） ○ ふりかえり記入用紙 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 8分	<p>ワークの趣旨説明</p> <p>○アイスブレイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プチエピソードを聞く。 ・ 自分のプチエピソードを発表する。（自己紹介を含める） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の子ども時代を思い出すことで、開かれた教育環境で育てることのよさを振り返ることをねらいとする。 ・ 提示のプチエピソードでは、参加者がイメージをもちやすいように家庭・学校以外の様々な場でのよかった体験をあげるようにする。 ・ 発表しやすいように、名前やエピソードのキーワードを書く時間をとる。 ・ 自己紹介の中に、自分のプチエピソードを入れることで、時間の短縮をはかる。 ・ 資料を提示し、データをもとに開かれた教育環境で育てをすることのよさを改めて感じることができるようになる。 	A4用紙 マジック 資料
展開 20分	<p>ワーク1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の周り（地域）の教育環境を付せん紙に書く。 ・ グループ内で発表し、話し合う。 ・ 「場」を分類し、名前をつける。 ・ 全体で共有する。 <p>ワーク2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表を作る。 ・ 個人で点数をつける。 ・ グループ内で発表し、話し合う。 ・ 全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎互いに意見を出し合いながらマップを作ることで、自分の周り（地域）にたくさんの教育環境があることに気づくことをねらいとする。 ・ より多くの場を挙げるようにするため、実際に参加したことがない場でも書いていくようにする。 ・ 互いに質問し合うことで、より詳しく情報を得ることができるようになる。 ・ 発表し合う時には、似たような意見は近くに貼るようにし、分類を行うように伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ◎2つの視点で「場」を見るとともに、それぞれが考えたランキングをもとに話し合う中で、多様な価値観にふれることができるようにすることをねらいとする。 ・ 「子どもの学びにつながる度」「私がハードルを感じる度」の2つの視点に沿って、まずは個人作業で表に5段階評価をつけるようにする。 ・ グループ全体でも表にまとめることで、意見を比べやすくする。 ・ 評価が分かれている「場」について特に話し合うよう助言する。 	付せん紙 マジック 模造紙 表 (個人用とグループ用)
まとめ 7分	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふりかえりシートを記入する。 ・ 発表し合い共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「開かれた」という点についての説明を行う。 ・ ふりかえりシートに各自の思いや得た情報などを記入する。 	ふりかえりシート